

**Q.現在10年を超える勤務を経て、星総合病院・リハビリテーション科の魅力に感じることを教えてください。**

—リハビリテーション科の魅力は①いろいろな疾患に関わり、急性期から療養型まで幅広く経験が出来ること②地元・地域の医療や福祉に携われること③職種間の仲が良く、コミュニケーションをとりながら働けることですね。ここ数年では新人教育や卒後研修にさらに力を入れるようになって、新しく来た仲間が安心して働ける環境づくりも行われています。法人全体としては、臨床・患者業務だけでなく地域に向けた取り組みを行っていること。新しい試みの中で働けていると思いますし、いろんな分野で自分たちの力を試せるチャンスがあるのではないかと思います。

**Q.今のお仕事内容を教えてください。**

—患者さんに携わる「臨床」が50%、管理職業業務や法人の業務などが50%といった感じです。管理職業業務の中には法人の取り組みなども入ってきます。私の場合は三春病院とたむら市民病院を兼務していますが、介護予防の分野にも携わっています。たむら市民病院の特徴は、地域に密着した活動が多いということです。住民の皆さんが主体となる運動サロンに足を運んだり、地域のイベントに参加することもありました。行政の方と連絡を取り合いながら現在も取り組みを続けています。臨床や運動以外にも働く部分が増えてきましたし、自分自身力を入れて取り組んでいます。もちろん自分一人ですることではありませんし、ほかのスタッフにも手伝ってもらいながら継続しています。

**Q.お休みの日の過ごし方やプライベートとのメリハリ、リフレッシュ方法を教えてください。**

—私の妻もリハビリスタッフなのですが、職場と自宅をしっかりと分けるために自分が気を付けているのは「家では仕事の話をしてはいけないこと」「仕事を家に持ち帰らないこと」です。一緒に時間を過ごすときには仕事をする姿は見せないようにしています。もちろん妻から相談があれば話は聞きますし、バランスは大事ですね。リフレッシュ方法は人それぞれかと思いますが、コロナ禍以前は職場の仲間とお酒を飲みに行くことも多く、楽しみの一つでした。子どもが出来て家族で出かけることが増えました。子どもの話が中心になることも併せて増えました。仕事とは違うジャンルのことをして楽しむことが多いですね。スポーツ観戦や映画鑑賞などが好きです。

**Q.最後に、今後の目標を教えてください!**

—兼務という業務の形態を通じて、病院どうしの連携をとれるようになっていきたいと思います。スムーズに病院どうしで連携が取れるシステムづくりを課題として、すでに取り組んでいる施設から情報を得たり、実際のやり取りの仕方を学んでいるところです。個人的な目標はダイエットですね(笑)。リハビリ職として、話に説得力を持たせるためにも急務で取り組みます!